



内閣官房内閣情報調査室

内閣衛星情報センター

Cabinet Satellite Intelligence Center

国家公務員として、宇宙・衛星・打上げ・会計・総務・画像分析・衛星管制に携わりたい方
その仕事、全て内閣衛星情報センターで見つかるかもしれません！

□ 内閣衛星情報センターとは

内閣衛星情報センターは、我が国の安全の確保、大規模災害への対応に関する画像情報の収集・分析・情報収集衛星システムの開発・運用に関することを任務としています。2001年に設立されて以降は、情報収集衛星開発から運用、画像情報分析まで行う国内唯一の政府機関として、国民の安全・安心に貢献しています。



令和6年能登半島地震による津波被害
(石川県珠洲市)

情報収集衛星画像(加工処理画像)

国内で大きな災害や事故が発生した際には、情報提供のため、情報収集衛星の画像を加工して公開しています。

□ 情報収集衛星とは

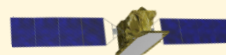
情報収集衛星は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、導入されました。

情報収集衛星は、昼夜を問わず世界中のあらゆる場所を高い分解能で撮像できる能力を持っています。

日中は光学衛星及びレーダ衛星が、夜間や天候が悪い場合はレーダ衛星が主に活躍しています。



光学衛星



レーダ衛星

職員からのメッセージ



令和5年採用
一般職(大卒程度)
【化学区分】

現時点で衛星などの知識がなくても、採用後に配属される部署で必要な知識を学び、定着させていくことが大事だと思うので、全く問題ないと思います。少しでもセンターに興味をお持ちであれば、ぜひチャレンジしてみてください。



令和4年採用
一般職(大卒程度)
【物理区分】

なかなか耳にしない機関であり、業務のイメージも想像しがたいかもしれませんが、やりがいを感じられることは多いと思います。女性職員も多く、有休などもとりやすくて働きやすい職場です。



平成28年採用
一般職(大卒程度)
【物理区分】

内閣事務官として採用後は、係員・係長・課長補佐を経験し、個人の能力や希望に応じて専門職・管理職の道へ進んでいき、国民に貢献できる国家公務員として成長していきます。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町9-13

内閣衛星情報センター

検索

